

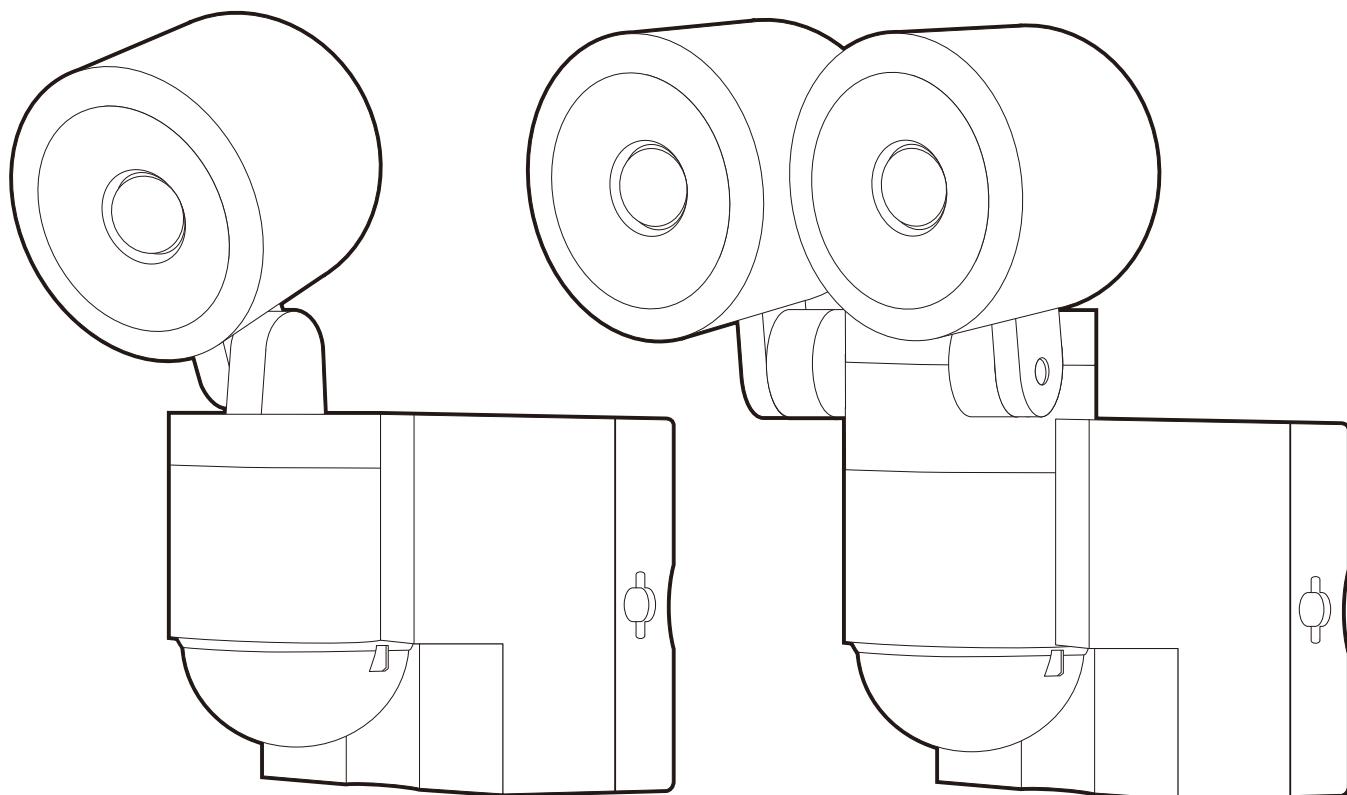
乾電池式 LEDセンサーライト

品番

ESL-N101BT
ESL-N102BT

取扱説明書

保証書付



お客様へのお願い

- この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書欄は「お買い上げ日、販売店名」等の記入を必ずお確かめください。

本品は強盗、盗難、空巣などの被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。
万一、被害などが発生しましたも当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

1 安全上のご注意

!**警告**

- 取り付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。
- 点灯中や消灯直後は器具に触らないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。
- 燃えやすい物や引火しやすい物の近くには設置しないでください。屋でも本体に布団や洗濯物等がかぶさると点灯し引火する恐れがありますのでご注意ください。
- 布や紙など燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。
- 本機は防雨構造ですので通常の雨や風には耐えますが、**大量の水(ゲリラ豪雨や台風の雨など)がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用できません。**
※防雨構造はIPX4電気機械器具の保護等級に適合します。
- 正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたすうえ、浸水による故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- 感電の恐れがありますので、乾電池を交換される際は濡れた手で本体に触れないでください。また本体が雨などで濡れている場合も触れないでください。
- 視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
- 改造、分解しないでください。また指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。

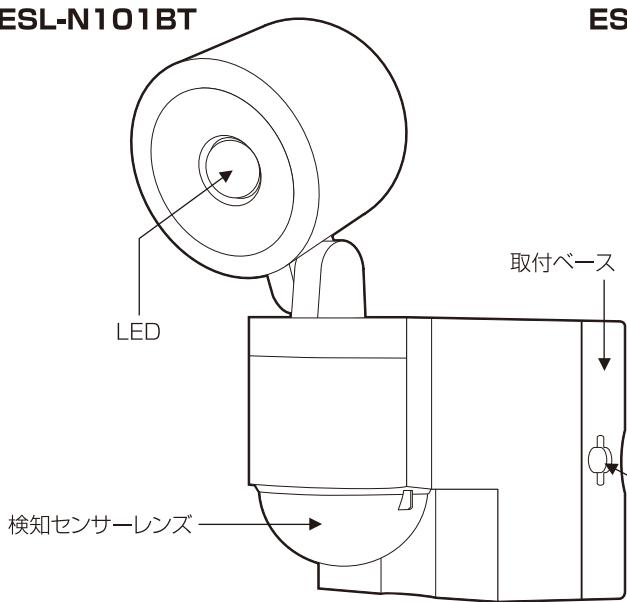
!**注意**

- 電池が液漏れ、破裂、発熱等する原因となりますので、下記の事にご注意ください。
 - ・電池の $\oplus\ominus$ 方向を正しく入れてください。
 - ・新旧及び種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・長期間ご使用にならない場合は電池を取りはずしてください。
 - ・乾電池は充電しないでください。
- 電池の液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機)の近くには取り付けないでください。
- 本機をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。
- 不安定な場所に取り付けないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取り付け後、しっかりと固定されているか必ず確認してください。

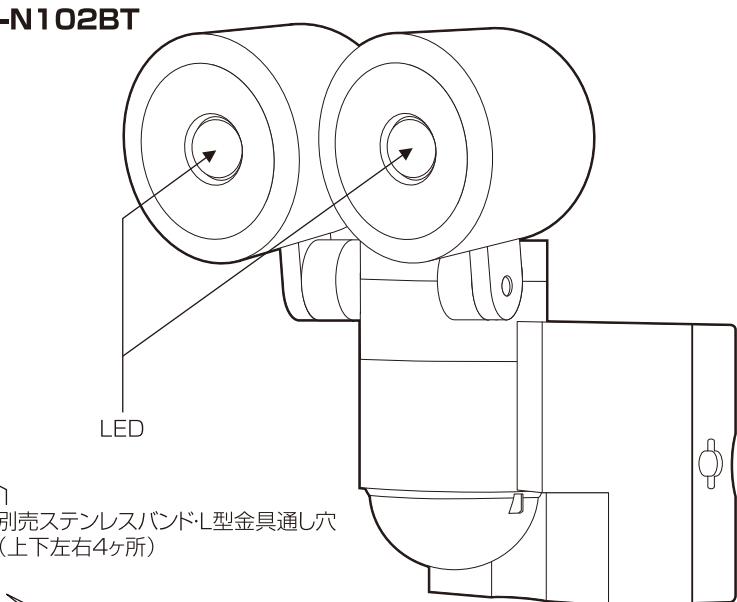
2 各部の名称と付属品

本体

ESL-N101BT

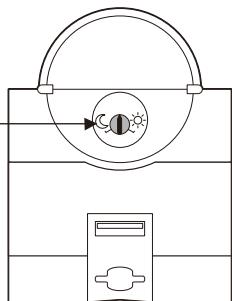


ESL-N102BT



※本体を下から見た図

点灯開始照度調整ツマミ
周囲が明るいときにも検知～周囲
が暗いときだけ検知させるように
センサーを調整できます。



取付ベース 別売ステンレスバンド・L型金具通し穴
(上下左右4ヶ所)

防水カバー

付属品

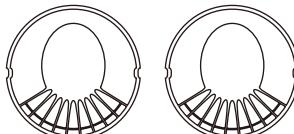
●取付ネジ(2本)
($\phi 4 \times 38\text{mm}$)



●コンクリート用
スリーブ(2本)



●マスキングカバー(2個)

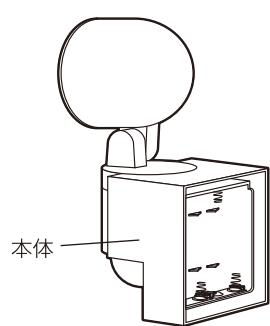
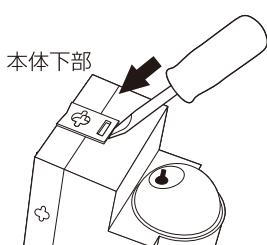


3 電源の準備

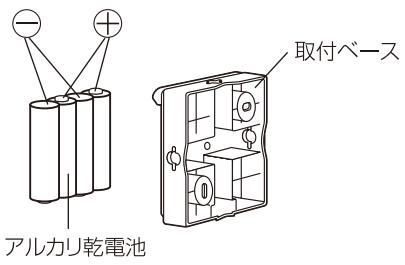
使用電池:単三形アルカリ乾電池×4本(別売)

※電池交換の際も同様の手順でおこないます

- ①本体から取付ベースを外します。
※下図のようにマイナスドライバーを差し込んで
外してください。
手やドライバー以外の工具を使用するとケガ
や故障の原因となりますのでご注意ください。



- ②電池ケース内の \oplus/\ominus 表示を確認して、
単三形アルカリ乾電池を4本セットします。
- ③先に本体上部の内側にある凹部に取付ベースの
凸部を合わせ、下部とはめ込みます。



※乾電池をセットすると、周囲の明るさによっては最長で60秒間、ライトが点灯する場合があり
ます(ウォームアップ時間)。これはセンサーライトの初期安定動作ではありません。

※マンガン乾電池、単三形充電池を使用すると
正しく動作しない場合があります。

4 設置方法

△ 本体の設置を行う前に各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

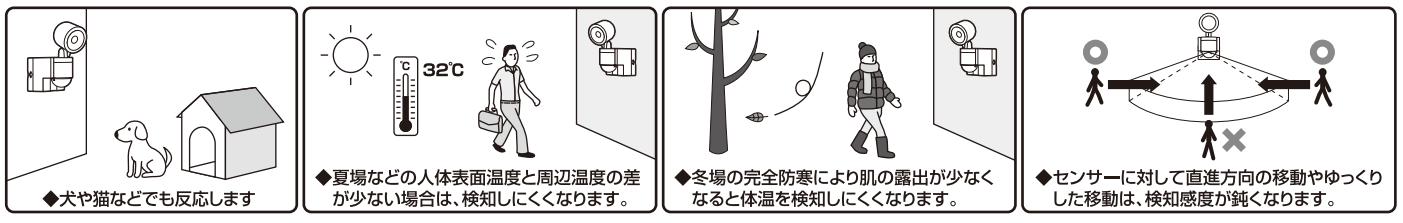
取り付け上のご注意

*センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。

下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。



センサーの特性上、以下の点にご注意ください。



本体の取付方法 △ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。

ネジでの取り付け

①本体から取付ベースを外します。

*右図のようにマイナスドライバーを差し込んで外してください。
手やドライバー以外の工具を使用するとケガや故障の原因となりますのでご注意ください。

②防水カバーを取り外します。

防水カバーを取り外した場所に取り付け穴があります。

*取り付け穴は薄い樹脂でふさがれています。
ドライバー等で強く押すと穴が開きます。

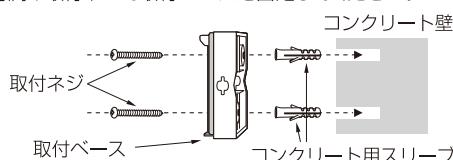
③取付ベースを付属のネジで壁に固定し、防水カバーを再び取り付けます。

④先に本体上部の内側にある凹部に取付ベースの凸部を合わせ、下部とはめ込みます。

取付ベースをはめ込む際は指などを挟まない様ご注意ください。

コンクリート壁への取り付け

あらかじめドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開け、そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込んでから、付属の取付ネジで取付ベースを固定してください。

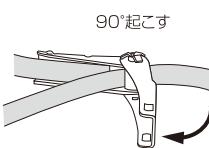
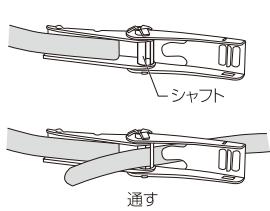
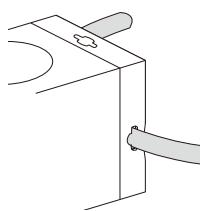


別売ステンレスバンドによる取り付け (弊社型番ESL-SB)

(直径約260mmまで取り付け可能)

△ ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめる事はできません。

*ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。

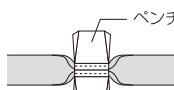


①取付ベースのステンレスバンド通し穴(上下または左右の2箇所)にステンレスバンドを通します。

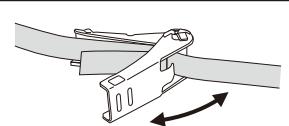
②バンドを取付箇所(ポールなど)に巻付け、先端をシャフトの間(シャフトは2枚構成)に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。

③バンドを適当に張り、ハンドルを90度起こして仮止めします。

④仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。バンド端末は外に出ません。



*図のようにペンチでバンドを2つ折りにし、左右に振ると、切断しやすくなります。



⑤ハンドルを反復回転させる。(ラチェット機構なのでバンドを巻取る)
※締めすぎると⑥の工程でハンドルが倒せなくなるので、ご注意ください。

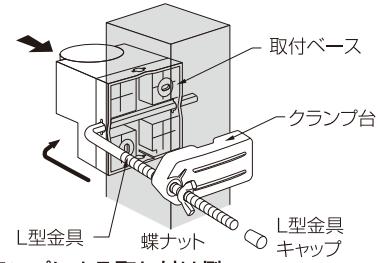


⑥ハンドルをベースに重なるまで倒して、ストッパーにかしめ込んで完了です。

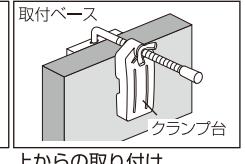
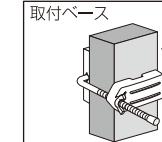
別売クランプでの取り付け (弊社型番ESL-CS)

最小約10mmから最大約100mm幅まで取り付け可能

①取付ベースのL型金具通し穴にL型金具を差します。
②L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
③L型金具の余った部分に別売クランプに付属しているL型金具キャップをかぶせてください。



■クランプによる取り付け例



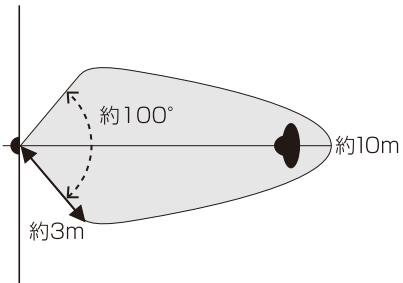
5 各種調整

検知エリアについて

検知エリアは目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、器具の設置状態などにより大きく変化します。

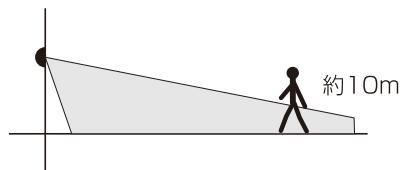
気温：20°C
湿度：50%

【平面図】 検知エリアを上から見た図



【側面図】 検知エリアを横から見た図

取付高さ
2.5m



※センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、人以外の熱源(動物・車など)も検知します。
※検知エリアの外側でも人より大きな熱源(車など)が移動した場合は検知する事があります。
※検知エリアにゆっくり侵入した場合、検知しなかったり、検知距離が短くなります。
※センサーに向かって正面方向から接近した場合は、検知距離が極端に短くなります。
※夏場など人体表面温度と周辺温度の差が少ない場合は、検知しにくくなります。
※冬場にマフラー、ニット帽などで完全防寒すると肌の露出が少なく、衣服の表面と外気温の温度差が少なくなり検知しにくくなります。

センサーレンズの検知方向の調節



左右各約60°

※故障の原因となりますので
60°以上回さないでください。

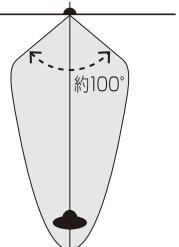
マスキングカバーの使用方法(検知エリアの調節)

センサーの検知エリアを狭くしたい場合は、付属のマスキングカバーで調節してください。
※マスキングカバーは予備を含めて2個付属されております。

マスキングカバーを取り付けると、カバーで覆われた部分はセンサーが検知しなくなります。

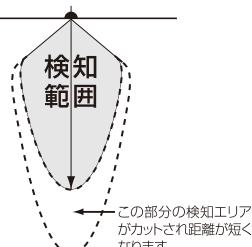
<例1>検知距離を短くする

カバーを取り付けない状態



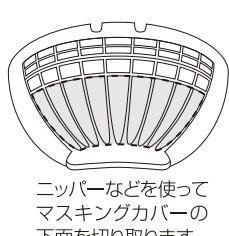
【検知エリア平面図】

検知エリアが短くなる



【検知エリア平面図】

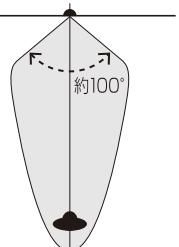
切り取る部分



ニッパーなどを使って
マスキングカバーの下面を切り取ります。

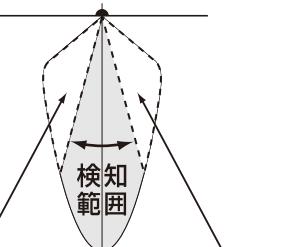
<例2>検知角度を狭くする

カバーを取り付けない状態



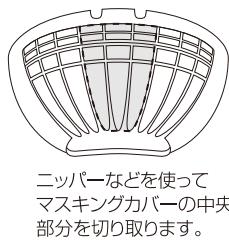
【検知エリア平面図】

検知エリアが狭くなる



【検知エリア平面図】

切り取る部分



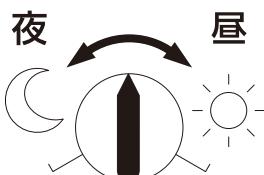
ニッパーなどを使って
マスキングカバーの中央
部分を切り取ります。

この部分の検知エリアがカット
され角度が狭くなります

この部分の検知エリアがカット
され角度が狭くなります

点灯開始照度の設定

センサーが検知を開始する明るさを
設定できます。



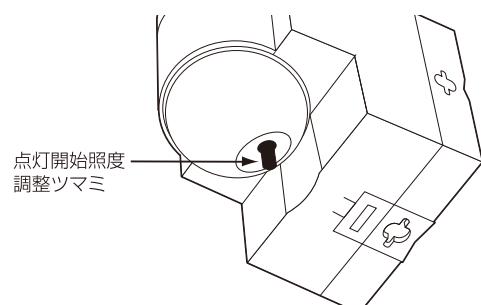
【夜】周囲が暗くなってから点灯します。

【昼】周囲の明るさに関係なくセンサーが検知

すると点灯します。

※点灯開始照度変更後20秒間は検知エリア外に
離れてお待ちください。

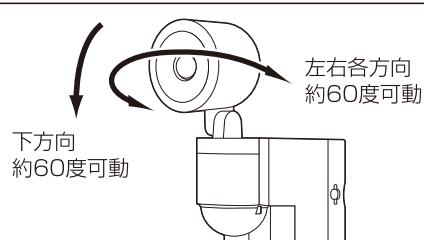
※出荷時は【昼】に設定されています。



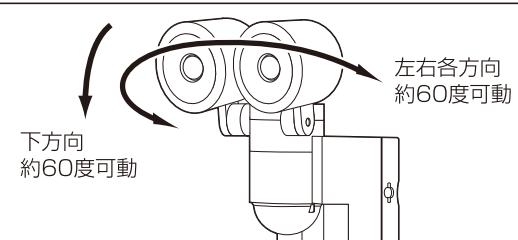
点灯開始照度
調整ツマミ

照射方向の調整

ライト部と本体を持って上下、左右
に照射角度を調整してください。



※故障の原因となりますので上記
角度以上に回さないでください。



※ESL-N102BTの灯体は左右単独で可動します。

6 故障かなと思ったら

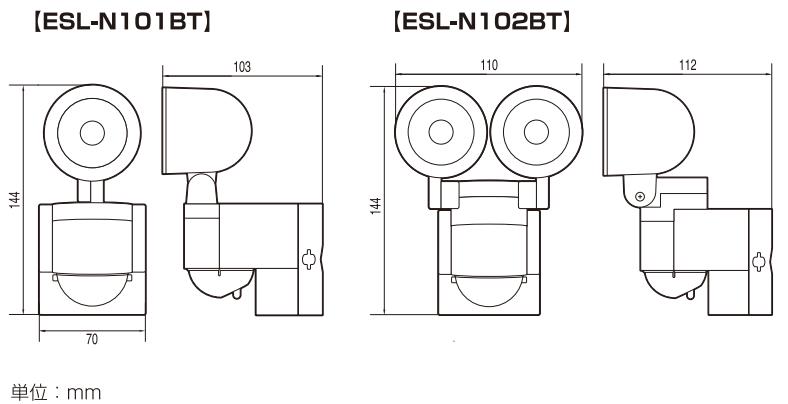
現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	<ul style="list-style-type: none"> 電源が正しく供給されていない。 センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。 周囲が明るい。 (夜でも周囲に他の照明器具がある) 寒いときや雨降りの時で、人がマフラーなど覆われている。 夏場など周囲の温度と人体の温度差がすくない。 非常にゆっくりとした速度で検知エリアに侵入している。 検知エリアが遮られている。 ※ガラスや壁、扉越しには人の動きを検知できません。 本体が正しく設置されていない。 <ul style="list-style-type: none"> 高い位置に設置している 低い位置に設置している 傾けて設置している 電池が消耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> 電池を正しく入れてください。 センサーの検知エリアに対して、検知対象(人など)が横切るような場所へ取り付ける。またはセンサーの角度を変更する。 点灯開始照度を「昼」側に調整する。 他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。 設置場所や検知エリア等を調整する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなることがあります。 検知範囲の調整、もしくは取付場所を変更する。 また、マスキングカバーをご使用の際は、ズレや外れがないか取付状況を確認する。 本体は約2.5mの高さに垂直に設置してください。 新品のアルカリ乾電池に交換してください。
ライトが点灯したまま消えない (センサーが反応し続ける)	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池をセット後のウォームアップ時間中 ※回路を安定動作させるため、乾電池をセット後はライトが最長60秒間点灯したままになります。 何らかの物体にセンサーが反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ウォームアップ時間が終了するまで、検知エリアの外に出て待機してください。 完全に検知エリアの外に出る。 マスキングカバーを取り付けて、検知エリアを狭い範囲に調整する。 取付場所を変更する。
人がいないのに点灯する	<ul style="list-style-type: none"> 検知エリア内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 (例)風で揺れるもの(植木、洗濯物、旗など)、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン室外機、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ 検知エリアが道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している。 風や車両の通行等により、センサーライトを取り付けている柱などが振動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 誤動作要因となっているものを検知エリア内から取り除く。 マスキングカバーを取り付けて、検知エリアを狭い範囲に調整する。 取付場所を変更する。 振動の影響を受けない場所に取付場所を変更する。
昼間なのにライトが点灯する	点灯開始照度の設定ボリュームが「昼」になっている。	点灯開始照度の設定を「夜」側に調整する。
ライトが点滅する (点いたら消えたり繰り返す)	<ul style="list-style-type: none"> 本機の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。 電池が消耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> 光を反射する障害物を取り除く。 新品のアルカリ乾電池に交換してください。
ライトが点いてもすぐ消える	<ul style="list-style-type: none"> 本機の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。 電池が消耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> 光を反射する障害物を取り除く。 新品のアルカリ乾電池に交換してください。

仕様

品番	ESL-N101BT	ESL-N102BT
検知方式	赤外線受動式	
電源	DC6V(単三形アルカリ乾電池×4本使用)※電池別売	
電池寿命	約6ヶ月 (1日10回点灯時) ※電池の性能、使用条件により電池寿命は短くなる場合があります。	約3ヶ月 (1日10回点灯時) ※電池の性能、使用条件により電池寿命は短くなる場合があります。
使用周囲温度範囲	-20°C～+45°C ※電池の特性上、周辺温度が低い場合は、電池の性能が十分に発揮されず、電池寿命が短くなる場合があります。	
点灯保持時間	約15秒(固定)	
点灯開始照度	約5 lx(夜)～(昼)	
耐水性能	IPX4(防沫形)	
光 源	白色LED×1灯(全光束90 lm)	白色LED×2灯(全光束180 lm)
質 量	約148g(電池含まず)	約204g(電池含まず)
付属品	コンクリート用スリーブ2本、取付ネジ2本、マスキングカバー2個	

※LEDの交換はできません。
※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますので、ご了承ください。
※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。
それ以外の責はご容赦ください。

外形寸法図



単位 : mm